

講話テーマ『適性に応じた主体的な進路実現のために』

講師：宇都宮公共職業安定所（ハローワーク宇都宮） 職員2名

<講話内容について>

○ハローワークの組織、役割について

- ・ハローワークは全国500か所以上ある。
- ・職業相談窓口として、①一般窓口 ②訓練窓口 ③専門援助窓口 がある。
- ・求人の種類 ➡ ①一般求人 ②学卒求人（在学中、卒後3年内） ③障害者専用求人
- ・ハローワークでは、職業相談（紹介）、職業訓練、雇用保険の申請などを行っている。

○「新卒」という条件を大切にしてほしい

- ・入社した会社をまず大切にしてほしい。入社がゴールではない。新卒だから正社員で求人を出してもらえる場合も多い。新卒で入った条件と同じ条件で、中途採用では入れないと思ってほしい。
- ・ハローワークでも今は正社員の求人が少ない。
- ・会社名だけで選ばず、お子様に合った会社か、お子様がいきいきと活躍できる場所かどうか、家族でよく話し合ってください。

○仕事を辞める前に相談してほしい

相談内容については、守秘義務があるため、会社に伝えることはないので安心して相談してほしい。逆に、会社に伝えてほしい場合は、会社との間に入って、一緒に解決方法を考えていく。

○雇用保険は一年以上の勤務が必要。ケースによっては半年でも受給できる場合もある

退職した場合は、必ず会社から「離職票」をもらうこと。受給を受けるために、ハローワークに「離職票」の提出が必要。

○保護者へのお願いとして

- ・お子様の愚痴を聞いてあげてほしい。説教は本人を否定してしまうことになる。お子様からのSOSを受け止めたら、場合によってはハローワークへ相談してほしい。卒後3年内なら、学校へ相談しても。
- 本人だけ、もしくは本人+保護者もOK。保護者のみだとお子様のことであっても守秘義務が生じるので、伝えられない内容もある。
- ・就職に対する準備期間は長い方がよい。

- ・お子様自身の自己理解を深められるようにしてほしい。お子様自身が自分の好きなこと、得意なことを知ることから始めてほしい。
 - ・製造職、事務職であっても、その中で具体的にどんな仕事がしたいか、その仕事は自分にできるか、など深く考えてほしい。
- 「こんなことができる」という強みを持っていると、入社してからも仕事の幅が広がってくる。
- ・会社から求められる力 ➡ 新卒の場合、仕事のスキルは求めない。人間性や、挨拶ができること、周りとのコミュニケーションと取ろうとすることができること。話題作りとしても、学生時代に興味のあることに対しては積極的に取り組んでほしい。

○お子様へ伝えてほしいこと

- ・会社への連絡（欠席、遅刻など） ➡ 本人からできるようにしておいてほしい。
- ・金銭管理 ➡ 友人とのお金の貸し借りは絶対にしないように。トラブルの元になる。
- ・学生としての残りの時間を大事に過ごしてほしい。
- ・会社で自分の障害や配慮事項について、きちんと説明できるようにしておいてほしい。